

2019年度第Ⅲ期常設展示リスト

展示期間:2019年9月7日(土)~12月27日(金) (*は寄託作品)

展示室A

◆森田恒友展関連展示:喜多方美術倶楽部

- 小川 芋銭 (1868-1938) 『鍾馗図』1915(大正4)年 絹本墨画淡彩*/『飲中八仙図』1916(大正5)年 紙本墨画淡彩*/『細道絵日記』1911(明治44)年 紙本墨画淡彩/『於那羅合戦』1921(大正10)年 紙本墨画淡彩
喜多方美術倶楽部関係資料(小川千甕絵付『太刀豆の芽菓子皿』/酒井三良絵付『老松寿色菓子皿』/色紙/書簡等)
木村 芳雨 (1877-1917) 『爵』1916(大正5)年 銅
小川 千甕 (1882-1971) 『門間春雄訪問記』1917(大正6)年 紙本着色/『越後瀬波海岸の松林』1919(大正8)年 板・油彩/『紀伊新宮河原』1917(大正6)年頃 麻布・油彩/『宇都乃山道』1917(大正6)年頃 絹本着色
酒井 三良 (1897-1969) 『雪に埋もれつつ正月はゆく』1919(大正8)年/『左義長』1920(大正9)年/『村芝居』1921-24(大正10-13)年/『田園秋色図』1921-23(大正10-12)年 すべて絹本着色
森田 恒友 (1881-1933) 『裏磐梯冬日』1915(大正4)年 絹本着色

◆昭和の洋画 吉井忠と仲間たち

- 長谷川 利行 (1891-1940) 『浅草の女』1935(昭和10)年 カンヴァス・油彩
麻生 三郎 (1913-2000) 『家族』1959(昭和34)年 カンヴァス・油彩
松本 竣介 (1912-1948) 『赤い建物』1936(昭和11)年 紙・油彩/『駅』1942(昭和17)年 板に紙・油彩
寺田 政明 (1912-1989) 『谷中風景』1929(昭和4)年 ボール紙・油彩/『夜の花』1956(昭和31)年 カンヴァス・油彩/『対話』1963(昭和38)年 カンヴァス・油彩/『樹木と街』1980(昭和55)年 板・油彩
吉井 忠 (1908-1999) 『赤い風景』1939(昭和14)年/『麦の穂を持つ女』1941(昭和16)年/『街』1949(昭和24)年/『寓話』1966(昭和41)年 すべてカンヴァス・油彩

展示室B

◆フランス美術の名品

- カミーユ・コロー (1796-1875) 『ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロア家へ向かう池沿いの道』1873年 カンヴァス・油彩
カミーユ・ピサロ (1830-1903) 『エラニーの菜園』1899年 カンヴァス・油彩
クロード・モネ (1840-1926) 『ジヴェルニーの草原』1890年 カンヴァス・油彩
ピエール＝オーギュスト・ルノワール (1841-1919) 『帽子を被る女』制作年不詳 カンヴァス・油彩
ジョルジュ・ルオー (1871-1958) 『超人』1916年 紙・油彩
版画集《ミセレーレ》(58点組)1922-27年(1948年出版) 紙・銅版混合技法
『1 神よ、我を憐れみたまえ、御身の大きいなる慈悲によりて』1923年/『6 我らは苦役囚ではないのか』1926年/『7 我ら自らを王と思い』1923年/『8 顔に皺を描かぬ者はいようか?』1923年/『11 明日は晴れるだろう、難破した者は、そう言った』1922年

◆アメリカ美術特集:ベン・シャーンとアンドリュー・ワイエス

- ジョン・スローン (1871-1951) 『ジェファーソンマーケット ナイト』1911年 カンヴァス・油彩/『五番街の批評家たち』1940年 カンヴァス・油彩
レジナルド・マーシュ (1898-1954) 『回転ブランコ』1931年 板・テンペラ
国吉 康雄 (1889-1953) 『婦人と子供』1920年 カンヴァス・油彩
野田 英夫 (1908-1939) 『牛乳ワゴン』1936年 カンヴァス・油彩
ベン・シャーン (1898-1969) 『W.P.A.サンデー』1939年 紙・グアッシュ/『恐怖の夜の町』1951年 ボード・グアッシュ、テンペラ/『ラッキードラゴン』1960年 綿布・テンペラ/『久保山とラッキードラゴン伝説』1965年 書籍/『これがナチの残虐だ』1942年 紙・オフセット/『警告!...インフレーションは不況を意味する』1946年 紙・オフセット/『これらあらゆる権利のため』

に我々は闘いを開始したのだ』1946年 紙・リトグラフ

版画集《リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…》(24点組) 1968年 紙・リトグラフ 『1 扉1』『2 扉2』『3 多くの都市を』『4 多くの人々を』『5 多くの事物を』

アンドリュー・ワイエス (1917-2009) 『ガニング・ロックス』1966年 紙・水彩／『ドイツ人の住むところ』1973年 紙・水彩／『松ぼっくり男爵』1976年 ボード・テンペラ／『そよ風』1978年 紙・水彩

展示室C

◆現代の版画

加納 光於 (1933-) 『星 反芻学』1962(昭和37)年 紙・インタリオ／『星 反芻学』1962(昭和37)年 紙・インタリオ／『星 反芻学』1962(昭和37)年 紙・インタリオ／『波動説No.26』1984-85年 紙・カラーインタリオ／『《しし座》—偶有と変容』I・II・III 1991-92年 紙・カラーインタリオ

百瀬 寿 (1944-) 『S-Orange and Green by Gold and Silver』1985(昭和60)年／『S-Pink by Silver and Gold』1985(昭和60)年／『S-Silver and Gold by Silver and Gold』1986(昭和61)年／『S-Reversible, Blues thru Pinks』1986(昭和61)年／『S-Reversible, Metallic Magenta thru Metallic Blue』2000(平成12)年 すべて紙・シルクスクリーン

李 禹煥 (1936-) 『遺跡地にて』(5点組)1984(昭和59)年 紙・リトグラフ

斎藤 清 (1907-1997) 『グリニッチビレッジ(ニューヨーク)』1962(昭和37)年／『セントラル公園、ニューヨーク』1962(昭和37)年／『猫(1)』1963(昭和38)年／『ソード(4)』1963(昭和38)年／『バニアンツリー、ハワイ(A)』1964(昭和39)年 すべて紙・コラグラフ

展示室D

◆小関庄太郎と芸術写真

小関 庄太郎 (1907-2003) 『麓の家』1925(大正14)年2月／『田舎の風景』1926(大正15)年／『田園風景』1926(昭和元年)／『古風な町』1928(昭和3)年10月／『一人歩む』1929(昭和4)年／『堤の上の散歩』1930(昭和5)年／『二人像』1932(昭和7)年6月／『包帯の男』1936(昭和11)年1月16日／『手をふる少女』1933-36(昭和8-11)年／『夕照』1938(昭和13)年／『遠い汽車』1941(昭和16)年／『傘をもつ自画像』1954(昭和29)年 すべてゼラチン・シルバープリント

名取 久作 (1905-1978) 『郊外秋景』1929(昭和4)年 ゼラチン・シルバープリント

萩原 露愁 (1895-1973) 『晩秋の夕』1934(昭和9)年 ゼラチン・シルバープリント

南 賢治 (1898-1982) 『冬日』1931(昭和6)年 ゼラチン・シルバープリント

椿本 金三郎 (1897-1982) 『白い犬』1928(昭和3)年 ゼラチン・シルバープリント

本田 仙花 (1897-1951) 『影』1924(大正3)年／『静物』1925(大正14)年5月18日 どちらもゼラチン・シルバープリント

佐藤 信 (1897-1987) 『都会』1928(昭和3)年／『子犬のいる風景』1920年代／『河畔』1925(大正14)年 すべてゼラチン・シルバープリント

氏家 健吉 (生没年不詳) 『湖畔風景』1924(大正13)年 ゼラチン・シルバープリント

金澤 治男 (1913-1939) 『夜の静物』1935(昭和10)年 ゼラチン・シルバープリント

菊田 蝶秋 (?-1930年頃) 『肖像』1925(大正14)年 ゼラチン・シルバープリント

屋外・ホール彫刻

林 範親 (1948-) 『路地裏』1994(平成6)年 ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具

佐藤 忠良 (1912-2011) 『若い女・シャツ』1982(昭和57)年 ブロンズ

エミリオ・グレコ (1913-1995) 『スケートをする女』1951年 ブロンズ

マリノ・マリーニ (1901-1980) 『騎手』1956-1957年 ブロンズ

井上 武吉 (1930-1998) 『My Sky Hole 89-2』1989(平成元)年 ステンレス・鏡面磨き

フェルナン・レジェ (1881-1955) 『歩く花』1952-53年 原型作成 ブロンズ・エナメル塗装*